



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月13日

上場会社名 株式会社ダイヤモンドダイニング 上場取引所 東
 コード番号 3073 URL http://www.diamond-dining.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 厚久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 須藤 大輔 TEL 03-6858-6080
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	21,772	14.6	270	△52.7	259	△54.6	△258	—
27年2月期第3四半期	19,005	4.1	572	185.2	570	125.3	201	186.7

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 △289百万円 (ー%) 27年2月期第3四半期 182百万円 (81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△36.12	—
27年2月期第3四半期	28.46	28.29

(注) 平成27年3月1日を効力発生日として、普通株式1株を3株に分割しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。なお、当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	15,099	3,167	20.2	424.99
27年2月期	14,686	3,378	22.9	473.21

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 3,054百万円 27年2月期 3,358百万円

(注) 平成27年3月1日を効力発生日として、普通株式1株を3株に分割しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月1日を効力発生日として、普通株式1株を3株に分割しておりますが、平成27年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金を記載しております。

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	15.0	900	△6.7	850	△11.1	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）Diamond Dining Macau Limited、除外 1社（社名）
 （注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
 （注）詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期3Q	7,356,900株	27年2月期	7,266,000株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	169,260株	27年2月期	169,260株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期3Q	7,145,408株	27年2月期3Q	7,097,001株

（注）平成27年3月1日を効力発生日として、普通株式1株を3株に分割しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 表示方法の変更	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 第3四半期連結累計期間の全社業績

(単位：千円、%)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	19,005,483	21,772,539	2,767,055	14.6
営業利益	572,378	270,698	△301,680	△52.7
経常利益	570,960	259,102	△311,858	△54.6
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	201,995	△258,083	△460,079	—
営業利益率	3.0	1.2	△1.8ポイント	

当第3四半期連結累計期間(平成27年3月1日～平成27年11月30日)におけるわが国経済は、企業業績の改善や雇用情勢の好転により緩やかな景気回復の基調が続いております。更に、景気の先行きにつきましても、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあって緩やかに回復していくことが期待され、また、訪日外国人観光客による旺盛なインバウンド需要などにより、改善傾向が見込まれております。しかしながら、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、わが国の景気を下押しするリスクや金融資本市場の変動には留意する必要があります。未だに不透明さが残る状況でありました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましても、外食業界における個人消費の持ち直しにより、徐々に改善傾向にあるものの、企業間の顧客確保の競争は激しさを増しており、当業界を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、『世界一のエンターテイメント企業グループ』へ向けた収益基盤強化を図るため、当第3四半期連結累計期間におきましては、高収益ブランド店舗の新規出店及び新規ブランドの店舗開発、並びに当該新規ブランド店舗の垂直立ち上げ等に注力してまいりました。

なお、当第3四半期連結累計期間におきましては、40店舗の新規出店(前年同期28店舗)を行ったことにより、売上高においては前年同期比で増収となったものの、海外ウェディング事業の立ち上がりの遅れや海外飲食事業の不振等の事由により、利益面においては前年同期比で減益となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの店舗展開状況につきましては、40店舗の新規出店、4店舗の業態変更、6店舗の退店により直営店舗数は270店舗となり、連結業績は、売上高21,772,539千円(前年同期比14.6%増)、営業利益270,698千円(前年同期比52.7%減)、経常利益259,102千円(前年同期比54.6%減)、四半期純損失は258,083千円(前年同期は201,995千円の四半期純利益)となりました。

② 第3四半期連結累計期間のセグメント業績

『飲食事業』

(単位：千円、%)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	14,026,709	16,331,525	2,304,816	16.4
セグメント利益	1,115,753	824,567	△291,186	△26.1
セグメント利益率	8.0	5.0	△2.9ポイント	

マルチ(複数)ブランド戦略を推進する飲食事業におきましては、当社グループ飲食事業における高収益ブランドである「わらやき屋」ブランドや「九州 熱中屋」ブランド、「美食米門」ブランド等の店舗を首都圏及び中京圏、関西圏に新規出店するとともに、既存店におきましては「コンセプト」・「空間」・「ストーリー」を一層魅力あるものにし、お客様のリピート率向上を図るため、従来以上にQSC(Quality:品質、Service:サービス、Cleanliness:清潔さ)の強化・徹底に取り組んでまいりました。また、既存ブランドの出店だけでなく、新規ブランドとして国内においては、「ザ・ステーキ六本木(非アルコール業態)」、「九州食堂 Gachi(おひとりでも楽しめる低価格帯居酒屋)」、「KAWAII MONSTER CAFE(コンセプトレストラン)」、「Marche aux Poissons(フレンチレストラン)」、「BISTORO French Paradox(フレンチレストラン)」、「Grand Breton Cafe(フレンチレストラン)」等を出店、海外においては、米国ハワイ州に「BREAD&BUTTER(カフェ)」を出店する等、新規出店による業容拡大並びに更なるブランドポートフォリオの拡充に努めてまいりました。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、37店舗の新規出店(前年同期25店舗)を行ったことにより、売上高においては前年同期比で増収となったものの、海外ウェディング事業の立ち上がりの遅れや海外における飲食事業の不振等の事由により、利益面においては前年同期比で減益となっております。しかしながら、既存高収益ブランド店舗は堅調に推移していることから、今後におきましても、既存高収益ブランドを中心とした積極出店を行ってまいります。

店舗展開状況につきましては、37店舗の新規出店、4店舗の業態変更、6店舗の退店により計222店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,331,525千円(前年同期比16.4%増)、セグメント利益は824,567千円(前年同期比26.1%減)となりました。

『アミューズメント事業』

(単位:千円、%)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	4,934,840	5,411,931	477,091	9.7
セグメント利益	582,875	800,986	218,110	37.4
セグメント利益率	11.8	14.8	3.0ポイント	

アミューズメント事業におきましては、「BAGUS」ブランドを首都圏及び九州圏に新規出店するとともに、既存店においてはビリヤード・ダーツ部門では新規顧客層の獲得による顧客層拡大に注力する一方、一部店舗におきましてフレアバーテンディングや専属インストラクターのレッスン等を実施することにより、リピーターのお客様満足度を向上させる施策を導入するなど、店舗のブラッシュアップに努めてまいりました。複合カフェ部門では非稼働エリア・非稼働時間帯の稼働向上策及び各種キャンペーンを実施することで集客力向上に取り組む一方、MSR(ミステリーショッピングリサーチ)への取り組み強化により、お客様満足度の向上に取り組んでまいりました。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、3店舗の新規出店(前年同期3店舗)を行ったことにより、売上高は前年同期比で増収となっており、利益面においても既存店売上高が堅調に推移するなかで販売費及び一般管理費の適切なコントロールを行った結果、前年同期比で増益となっております。

店舗展開状況につきましては、3店舗の新規出店により計48店舗となり、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,411,931千円(前年同期比9.7%増)、セグメント利益は800,986千円(前年同期比37.4%増)となりました。

『ライセンス事業』

(単位:千円、%)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
売上高	43,934	29,081	△14,852	△33.8
セグメント利益	13,586	14,466	880	6.5
セグメント利益率	30.9	49.7	18.8ポイント	

ライセンス事業におきましては、「九州 熱中屋」ブランドのフランチャイズ募集に加え、既存ライセンス店舗及び既存フランチャイズ店舗のサービス力向上を目的としたフォローアップに注力いたしました。

店舗展開状況につきましては、9店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は29,081千円(前年同期比33.8%減)、セグメント利益は14,466千円(前年同期比6.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

連結貸借対照表 要約

(単位:千円、%)

	前連結会計年度	当第3四半期	増減額	増減率
総資産	14,686,602	15,099,700	413,098	2.8
純資産	3,378,442	3,167,286	△211,156	△6.3
自己資本比率	22.9	20.2	△2.6ポイント	

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ413,098千円増加し、15,099,700千円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金、無形固定資産がそれぞれ1,017,100千円、245,828千円減少したものの、有形固定資産、差入保証金、売掛金がそれぞれ1,067,711千円、324,736千円、102,457千円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ624,254千円増加し、11,932,414千円となりました。主な要因といたしましては、社債、未払法人税等がそれぞれ260,000千円、128,290千円減少したものの、長期借入金、1年内返済予定の長期借入金がそれぞれ1,057,809千円、213,128千円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ211,156千円減少し、3,167,286千円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が340,878千円減少したものの、少数株主持分が88,113千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月10日付「平成27年2月期決算短信[日本基準](連結)」で開示いたしました平成28年2月期通期の業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日(平成28年1月13日)開示いたしました、「特別損失の計上及び平成28年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、新たに設立した株式会社The Sailing及び株式の一部を取得したDiamond Dining Macau Limitedを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 表示方法の変更

前第3四半期連結累計期間において「営業外収益」の「その他」に含めておりました「受取協賛金」は、重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示しておりました78,434千円は、「受取協賛金」17,249千円、「その他」61,184千円として組替えております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,565,068	3,547,967
売掛金	326,505	428,963
商品	8,505	10,612
原材料及び貯蔵品	151,648	185,949
その他	950,030	1,093,218
貸倒引当金	△2,448	△3,018
流動資産合計	5,999,311	5,263,693
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,949,662	8,895,245
減価償却累計額	△4,730,197	△4,953,131
減損損失累計額	△638,954	△595,856
建物(純額)	2,580,511	3,346,256
車両運搬具	2,425	4,925
減価償却累計額	△2,069	△1,313
車両運搬具(純額)	355	3,611
工具、器具及び備品	2,441,816	2,847,098
減価償却累計額	△1,885,663	△2,008,422
減損損失累計額	△61,082	△66,611
工具、器具及び備品(純額)	495,070	772,063
土地	53,759	43,759
リース資産	477,363	484,909
減価償却累計額	△402,240	△430,498
減損損失累計額	△21,103	△21,103
リース資産(純額)	54,019	33,307
建設仮勘定	67,663	120,091
有形固定資産合計	3,251,379	4,319,091
無形固定資産		
のれん	519,133	269,082
その他	81,310	85,533
無形固定資産合計	600,444	354,616
投資その他の資産		
差入保証金	3,968,505	4,293,242
その他	866,961	854,672
投資その他の資産合計	4,835,466	5,147,914
固定資産合計	8,687,290	9,821,621
繰延資産		
開業費	—	14,384
繰延資産合計	—	14,384
資産合計	14,686,602	15,099,700

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	612,189	735,074
1年内返済予定の長期借入金	2,021,440	2,234,568
1年内償還予定の社債	400,000	310,000
未払法人税等	248,827	120,536
賞与引当金	49,717	127,343
株主優待引当金	11,179	1,041
ポイント引当金	14,871	32,161
資産除去債務	—	37,647
その他	2,197,655	1,946,044
流動負債合計	5,555,880	5,544,418
固定負債		
社債	610,000	350,000
長期借入金	4,274,258	5,332,068
資産除去債務	453,730	432,193
その他	414,290	273,735
固定負債合計	5,752,279	6,387,996
負債合計	11,308,160	11,932,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	502,015	530,148
資本剰余金	492,015	520,148
利益剰余金	2,285,378	1,944,499
自己株式	△71,668	△71,668
株主資本合計	3,207,739	2,923,128
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	150,506	131,520
その他の包括利益累計額合計	150,506	131,520
新株予約権	20,196	24,523
少数株主持分	—	88,113
純資産合計	3,378,442	3,167,286
負債純資産合計	14,686,602	15,099,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	19,005,483	21,772,539
売上原価	4,109,560	4,751,357
売上総利益	14,895,923	17,021,181
販売費及び一般管理費	14,323,544	16,750,482
営業利益	572,378	270,698
営業外収益		
為替差益	48,437	17,499
受取協賛金	17,249	18,000
その他	61,184	68,868
営業外収益合計	126,871	104,367
営業外費用		
支払利息	76,892	72,893
支払手数料	32,994	25,167
その他	18,402	17,903
営業外費用合計	128,289	115,964
経常利益	570,960	259,102
特別利益		
固定資産売却益	3,146	3,561
特別利益合計	3,146	3,561
特別損失		
固定資産除却損	12,617	21,416
減損損失	60,905	266,851
その他	32,472	21,743
特別損失合計	105,996	310,011
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	468,111	△47,348
法人税等	266,115	223,407
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	201,995	△270,756
少数株主損失(△)	—	△12,672
四半期純利益又は四半期純損失(△)	201,995	△258,083

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	201,995	△270,756
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△19,304	△18,985
その他の包括利益合計	△19,304	△18,985
四半期包括利益	182,691	△289,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,691	△277,068
少数株主に係る四半期包括利益	—	△12,672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、平成25年新株予約権の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ28,133千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が530,148千円、資本剰余金が520,148千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	ライセンス 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,026,709	4,934,840	43,934	19,005,483	—	19,005,483
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,026,709	4,934,840	43,934	19,005,483	—	19,005,483
セグメント利益	1,115,753	582,875	13,586	1,712,215	△1,139,836	572,378

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,139,836千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、撤退予定の2店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては40,570千円であります。

「アミューズメント事業」において、撤退予定の1店舗等について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては20,335千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」において、KOMARS F&B PTE. LTD. の全株式を取得したこと及び当社の完全子会社である株式会社ゴールデンマジックが飲食店舗を事業譲受したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、397,580千円であります。

KOMARS F&B PTE. LTD. は、平成26年10月1日付でDiamond Dining Singapore Pte.Ltd. へ商号変更しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食事業	アミューズ メント事業	ライセンス 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,331,525	5,411,931	29,081	21,772,539	—	21,772,539
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,331,525	5,411,931	29,081	21,772,539	—	21,772,539
セグメント利益	824,567	800,986	14,466	1,640,020	△1,369,322	270,698

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,369,322千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、撤退予定の9店舗に係る店舗資産及びのれんの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては262,784千円であります。

「アミューズメント事業」において、撤退予定の1店舗に係る店舗資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては4,067千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」において、Diamond Wedding LLC. がKNG Corporationからウェディング事業を事業譲受したことによりのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては82,606千円であります。

また、同事業において、Diamond Dining Singapore Pte. Ltd. の事業撤退の方向性を決議したことにより減損損失を計上したため、のれんが200,508千円減少しております。上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。